

明けましておめでとうございます。謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

年が改まり、2028年に迎える創立100周年まで、3年となりました。

新しい神奈川大学の展開として、みなとみらいキャンパスを開設し、4年が経ちました。

また、2022年度からリニューアルした理工系学部は、3年目を迎えます。

みなとみらいキャンパスにはグローバル系3学部を置き、世界で活躍する人材の育成に力を入れています。また「社会連携センター」を設置し、周辺企業や自治体、他大学との連携事業を積極的に進めています。

横浜キャンパスには、理工系5学部、文系3学部の計8学部を設置し、地元六角橋に根差しつつ、広く社会に貢献する人材の育成を目指しています。そして横浜・みなとみらいに11学部を擁する大学として、新たな一步を踏み出したところです。

このようなキャンパスや学部の新設、改組などのハード面の変化は、改革の第一段階であると言えます。2024年度からは、その新しい環境の中で行うソフト面の変化、すなわち教育の中身そのものを見直すという、改革の第二段階に進んでおります。それは教育の内容や方法を絶えず見直すこと、そして教員と学生が学び合い、互いの知を刺激することによって、新たな未来を創出していくことに他なりません。したがって、神奈川大学のこの「改革の第二段階」は、本学の学生の皆さん、そして先生方お一人おひとりと共に創り出していくものと考えています。

今年は、学修成果の可視化に向けた教育改革を引き続き進めてまいります。「学修と振り返りの記録」をさらに分かり易くし、学生の皆さん一人ひとりが自分の「身につく力」をグラフやデータで理解すること、そしてそれを教職員も共に確認しながらサポートしていくという、「親身の教育」を神奈川大学の特長としていきたいと思えます。

併せて、データサイエンス教育の充実、大学発ベンチャーの支援など、新たな時代に対応する質の高い教育・研究と、人材育成の場を提供してまいります。

今年は巳年。成長と変化の象徴とされ、「転換の年」や「物事が大きく進展する年」と言われます。本学にも新たな可能性が開き、発展と飛躍の一年となることを願います。

本年が皆様にとって、希望に満ちた幸多き年になりますことを心から祈念申し上げ、年頭のご挨拶といたします。

2025年1月1日

神奈川大学長

小熊 誠